

【大分県 日田市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月)等を踏まえ、急速な情報化及び多様化の進む現代社会において子供たちが情報通信技術(ICT)を積極的に活用して主体的に考え、他者と新たな課題の解決などに取り組むために必要な情報活用能力(学習の基盤となる資質・能力)の育成を図るため、1人1人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習、全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる協働学習、子供たち1人1人の反応を踏まえた双方向型一斉授業を推進します。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想実現に向け、令和3年2月末までに児童生徒1人1台端末及びネットワークの整備が完了しました。1人1台端末を用いた学習をより効果的に行うために、1人1人の学習定着状況をAIが判断し、個に応じた問題を出題したり、問題別の解説を表示したりする「AIドリル」や自分の考えや自分が調べたことを、グループ内や学級全体に送信し、画面上に一斉に表示する機能を持った「学習支援アプリ」等の整備を進めるとともに、1人1台端末の家庭への持ち帰りを実施してきました。

また、ICT支援員が全小中学校を巡回し、授業及び研修支援を適宜行うとともに、端末操作の技術向上を目的として、夏季休業期間を中心に、AIドリル及び学習支援アプリについての研修を、小中学校でそれぞれ実施しました。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和4年度より、1人1台端末を用いた学習が本格的に稼働し、全ての小中学校において、毎日の授業や家庭学習での1人1台端末の活用が定着してきています。また、文部科学省導入による学習者用デジタル教科書や指導者用デジタル教科書は、日常的な活用が進められています。

さらに、不登校児童生徒支援として、端末を活用したオンラインでの情報配信や相談体制づくりやオンラインで配信される学習教材を使って行う自宅でのICT家庭学習支援等の取組を継続して推進していきます。

今後、令和7年度の1人1台端末の更新に向けて、学習の基盤となる資質・能力の育成するため、学校での授業や家庭学習における効果的な活用についての検証及び改善を継続して行うことが不可欠です。